

～主のご復活 おめでとうございます～

*カリタスジャパンはウクライナ人道支援募金を受付けています。詳しくはカリタスジャパンのホームページをご覧ください。

高田教会では皆さんからの募金を含めて7万円を3月末に送金致しました。

今回、ホン神父様からお餞別をウクライナ募金へというご意向を汲み3万円をカリタスジャパンに追加送金致しました。

奈良ブロック

*2022年度オンライン聖書講座のお知らせ。

- ・テーマ：今、愛を生き「いのち」をつなぐールカ福音書に学ぶー
- ・期間：6月～8月（全5回）奈良ブロックホームページで6月11日～9月5日までどなたでも視聴できます。（Wi-Fi環境下での視聴をお勧めします。）

お問合せは実行委員まで。詳しくはホール掲示のポスターをご覧ください。

大和高田教会

*5月の主日ミサについて。

5月15日（日）10:30～ミサ（参加はB・C地区）

※9:30～B・C地区の地区集会があります。

5月22日（日）10:30～ミサ（参加はA・C・D地区）

※9:45～A地区、ミサ後にD地区の地区集会があります。

5月29日（日）10:30～ミサ（地区制限はありません。）

コロナ感染者は減少傾向ですが教会は油断することなく検温、手指の消毒、3密の回避、窓の開放など感染対策を実施いたします。ご協力をお願い致します。

*5月22日（日）8時45分～小教区評議会があります。関係者の出席をお願い致します。

*ランディ神父様着任の挨拶文をホールに貼っています。お読みください。

*聖書講座実行委員からのお知らせ

奈良ブロック聖書講座の第1回オンライン講座『中川博道神父(カルメル会)6月11日配信予定』の収録に、若干名会場で参加できます。詳細はホールに掲示中の対面収録参加申込表をご覧ください。5月22日ミサまで申込できます。予定人数をオーバーした場合抽選となります。

*復活の主日のミサ（4月17日ホン神父様司式）を動画撮影しました。

大和高田教会ホームページと奈良ブロックホームページで公開しています。

可能な方はご覧ください。

5月15日 復活節第五主日 ヨハネ13章31～33節a、34～35節

今や、栄光を受けた

復活節第五主日と第六主日の福音は毎年ヨハネの福音から同じ箇所が朗読されます。この箇所はイエスが最後の晩さんの席で弟子たちに話された長い説教の一部です。

とくに今日の部分は、イエスが弟子たちの足を洗ったのちに、ユダが出て行きました。そのあとに語られた言葉として伝えられています。

ユダが出て行ったのは、もちろんイエスを売り渡すためです。ということは、イエスの受難の始まりであると言ってもいいでしょう。そのときにイエスは「今や、人の子は栄光を受けた」と言われました。もちろん、受難のあとに復活の栄光が現れるのですが、受難を前に「今や」と言われるのはちょっと不思議に思いませんか。（「今や」というと関西弁みたいですね）。

わたしたちは「栄光」というと華々しく輝いているイメージがありますが、もともとは「本来のすばらしさが輝き出すこと」という意味だそうです。ヨハネ福音書では受難をこの意味で使っているということですが、ではなぜ受難が「すばらしい」のでしょうか。

もうお亡くなりになられましたが、京都の西陣教会の信者で橋爪さんという画家の方が漢字の「愛」という字をくずして十字架のイエスの姿をかたどり、色紙に描いておられました。どこかの教会でご覧になった方もいらっしゃるかもしれません。そのとおり、イエスの十字架はまさに愛の姿だったのです。わたしたちの罪の赦しのためにご自分の命をささげてくださいました御子イエス。最愛の御子をわたしたちのために与えてくださった父なる神。十字架のイエスの姿に、すばらしき神の愛が輝き出ているということができのです。ですから、受難の始まるときにイエスは「今や」と言われたのです。

そして、イエスは続けて「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」と告げられます。同じヨハネの福音では、最後の晩さんの席でイエスは弟子の足を洗い、「あなたがたも互いに足を洗い合わなければならない」と言われました。ここではそれが「互いに愛し合う」という意味であったことがはっきりと示されています。「わたしが愛したように」の「愛」はイエスの十字架によって輝き出たのです。

今日の福音の最後にイエスは「互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる」と言われます。これは単に、自分たちが愛し合うことによって、みんなの模範になりなさい、という意味ではありません。「互いに」のうちには弟子以外、つまり信者以外の人々も含まれているのです。

「イエスの弟子」はイエスの愛を伝える者です。イエスからいただいた愛を分かち合うことによって、みんなが神の愛を知るようになります。神はわたしたちを愛しておられるのに、その愛に気づいていない人々が大勢います。わたしたちがイエスの愛を分かち合うことによって、この世に神の愛が輝き出たのです。

(柳本神父)